

# 西川 コミュニティだより

第51号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和4年9月30日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

## 令和四年西川祭り、神輿渡御と傘鉾巡行

西蒲・曾根郷文人研究会、新潟県民俗学会会員

坂井 美香



西川祭りが三年ぶりに開催された。コロナ禍のため日程を縮小して、本来二日目の行事である神輿還御それと傘鉾行列のみが行なわれた。残念なことに、屋台引き回しもパレードもなかった。だが、どんな民俗芸能でも、定期的に行われていたものが休止となれば、芸能の継承が途絶え衰退の一因となる。だから、祭りの再開は喜ばしい限りだ。

沿道は多くの観客でにぎわった。家の前に椅子を持ち出したり、日陰にたたずんだりして行列が来るのを待っている。神職、貝吹き、猿田彦命、獅子頭に続いて御神輿が笛と太鼓を従えてやって来る。ワッショイ、ワッショイとではなく、どちらかといえば、しずしずとやってくる。神輿が辻々で止まれば、その下を人々がくぐる。厄除け、疫病退散を願うてのことだという。神輿の後には、十三基の傘鉾が従っていた。今年の各町内の傘鉾人形を紹介しておこう。一番町は「越中おわら風の盆」の男性人形、二番町は「越中おわら風の盆」の女性人形、三番町は「角兵衛獅子」、四番町は「赤穂浪士 堀部安兵衛」、五番町は「越後長岡藩 だいろ」、六番町は「鬼平 長谷川平蔵」、七番町は「スパイファミリー アーニャ」、八番町は「武蔵坊弁慶」、九番町は「黒田節」、朝日町は「笹団子郎」、東町は「ワンピース 麦わらのルフィ」、西川商工会の「ピカチュウ」、「花野古町」である。定番のものから最近のアニメの主人公、ご当地キャラクターまでいろいろだ。傘に付けられた幕が風にはためくと、人形が生き生きと見えるから不思議なものだ。

傘鉾伝承会の灰野さんによれば、傘鉾は江戸時代から伝わる行事で、町の富裕な商人等が家の繁栄を願い、豊かさを誇示したことから始まったという。そして、傘の上の人形は神様の依代で、神様は派手なものを好むから様々な人形が作られるようになった。災厄をもたらす疫神も集まってくるが良い神様によって町の外に追い出されるのだという。なるほどで



▲西川中美術部制作の傘鉾人形「ピカチュウ」



▲実りの越後平野

■西川地域の総人口:10,586名(-7名) ■男:5,116名(-6名) ■女:5,470名(-1名) ■世帯数:4,060戸(+13戸)

( )は、前号との比較 (令和4年8月末日現在)



ある。傘鉾行列をする意味がよくわかる。

祭りには地域の暮らしのためにかかせないものだが、それを支える方々のご苦労があつて

のものだと推察する。傘鉾の保存と伝承に尽力されている灰野さんは以下のように語る。

「祭りは子供にとって夢だし、楽しみだ」「中学生や若い人には、祭りを繋ぐ心を持って欲しい」「祭りを伝承し続けてやっていくべきだ」と。確かに、子供にとってお祭りは楽しみな行事だ。また、祭りは外に出た人々を呼び返すし、地域住民の絆をつないでくれる。若い人がどんどん参加し、祭りを盛り上げて欲しいと思う。最後に、今年の西川祭りが催行されたことを喜び、来年は盛大になることを期待したい。

### 【連合会一日研修】 常に、災害に備えを

水道町町内会長 神村 博

「天災は忘れたところにやってくる」ではないが今の時代は、いつどこで災害が起きてもおかしくない状況です。日本のどこかで地震、水害。身近なところでは、コロナ禍、熱中症、最近ではサル痘など、次々と待ち構えており、とても油断できないところです。

丁度そんな時、タイミンク良く、自治会町内会連合会から、防災施設等の視察研修の案内があり、防災を考える上で、貴重な体験になるのではないかと思いい参加しました。

主な見学先は、「パティオにいがた」。十  
八年前に想  
定外の豪雨  
で、刈谷田  
川が破堤し  
中之島一帯  
が、大水害  
になりました。  
当時の写  
真資料を  
展示してい  
る。

次は長岡  
震災アーカ



イブセンター「きおくみらい」です。同じ年の十月に中越大地震があり、被害状況から復興の軌跡までの震度七の膨大な情報が集められている。

経験を生かした  
備蓄品、  
避難所の  
開設、設  
備品など  
も学習出  
来る。

全村避  
難のやま  
こし復興  
交流館「お  
らたる」

で、山古志住民ガイドから地震発生から復興までを地型模型に映像を投影したシアターで説明を受け当時の様子が理解できた。

参加メンバーは、これから見た事、聞いた事を、各町内会に一つでも多く伝えて欲しいとおもいます。

いざという時に今住んでいるところの、つながりを大切にして防災情報意識を高めたいと感じて帰ってきました。



【ミニ傘ぼこ教室】

コロナ禍でのミニ傘鉾づくり

コミ協事務局長 七宮 晃

昨年引き続き、「ミニ傘鉾づくり」を開催しました。新型コロナ感染が増加し始め、参加希望者がキャンセルする中での開催でした。二組の親子での開催となりました。

事前の準備に、講師の入澤さんや田村豊さんから、材料作成に取り組んでいただきました。コミ協職員も材料セットを組み、当日の実施に向けて準備万端で臨んでいましたがいかんせん、コロナの猛威には勝てませんでした。



しかし、参加した親子は、マンツーマン指導を受けて、丁寧にかつきれいなミニ傘鉾を作ることができました。



ホットボンドや木工ボンドでの傘はりや骨組みづくりなどに苦戦していましたが、とても素敵な出来栄となりました。来年は、大勢の参加のもとで開催したいと思った事業でした。

【子供盆踊り】

子供ぼんおどりフェスティバル

コミ協地域振興部会長 内藤 和範

三年ぶりの開催。新型コロナ感染状況が悪化する中、西川まつりの先陣を切って開催しました。西川出張所前の駐車場を借用し、職員駐車場も活用して、初めての試みでした。来場者は415名。緑の音楽祭よりは少ない飲食店ブース、縁日コーナーを設け、中央にやぐらを重川材木店から運んでいただきました。朝八時から準備に入り、地域振興部会委員の協力で、提灯飾りや受付など役割分担を行い、当日を迎えました。

来場した子供たちや保護者からは、「とても楽しかった。子供の楽しみがなかったのやってみてもらえてよかった」等の言葉をたくさんいただきました。

新型コロナ対応として、大人はリストバンドを、子供は光るブレスレットを身につけていただき、入場者の把握に努めました。幸い感染者の報告はありませんでした。

来年はもっと賑やかに開催したいです。



【文化】

雑感

美里 神崎 利雄



定年を境に、新潟から越えてきて26年、曽根はとても住み良い所です。当時書道の先生から筆をいただき、それがキツカケで字を書くようになってきました。それからしばらくはく日もくる日も毎日とりつかれたように練習をくりかえし、

目標を立て「継続は力なり」の言葉を信じて一念発起して毎日稽古の日が続く。時が過ぎ気がつくとは始めてから26年の月日が経ち、師匠に就かず自己流の書道に励んできました。現在書いている字には満足していませんがこれからも生涯学習のつもりで頑張り、もっと上手に美しい文字を書けるように努力したい。永字八方をもっと理解して練習に努めたい。

また、民謡教室にも通い、先生について二十数年、今では毎日自宅で発声練習に努めています。認知症にならないようにと思い、大きな声で唄っています。第二の人生は好きなことを好きにだけ毎日やり、飽きずに続けたいと思います。心豊かな人生を。



【趣味】

鳥の気分で

西川まち歩き会から事務局長 野沢 達雄

へタな水彩画を前々号に載せていただきました。画材はたいいてい六番町の「本マ屋」さんで買うのですが、しばらく前、絵の具のほかに厚紙やボンドなども調達してきました。

小学生のころ「図工」の時間が大好きだった。それを思い出し、越後曾根駅の模型を作ることにしたのです。会社員時代に日々の通勤でお世話になったことに感謝して。

縮尺は15分の1。ベニヤ板を土台に、切ったり、貼ったり、塗ったり……。のんびり進めたので、「着工」から足かけ2年かかりました。大工事です(笑)。

2番線から見える田んぼを、いつか空から眺めてみたいのですが、きつと鳥の目にはこんなふう映っていることでしょう。

日本の鉄道は開業150年。越後線は白山〜吉田間の開通から110年を迎えました。環境に優しい鉄道をもっと使いたいものです。

(模型は「かのうハウス」で展示予定。ハウスの前の掲示板などでお知らせします)



【高校生奮闘記】

だいろアート展

新潟工業高校・建築部の挑戦



今回私たちが行った「だいろアート展」には、西川地域内外の多くの方が訪れてくださいました。「飼いたくなりました。」などの感想を頂きました。開催した時期がとても暑かったのですが、お客様に来て頂けるかとても不安でしたが、思っていた以上に多くの方がお越しくださいりとても嬉しく思いました。おいでくださった皆様、ありがとうございました。

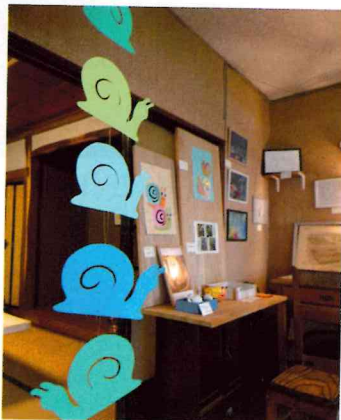
「だいろアート展」については、来年も第三回を計画しています。三回目は、皆様から今回よりもいっそう「来てよかった。」と思っ頂けるよう工夫を重ねて計画を進めていますので、ぜひまた気軽に参加ください。

(佐藤 輝明)



夏休み中の一週間と週末を中心に、かのうハウスで「第二回だいろ(かたつむり)アート展」を開催しました。「だいろ」をモチーフとして、地域の方から製作して頂いた写真や切り絵、絵てがみ、版画、絵本など、また建築部員が描いた絵画などの作品も展示しました。形は違えども製作者の「だいろ」に対する思いが各作品から伝わって来ました。

地域内外の多くの方にも作品を見に来て頂くことができ、製作者も作品も喜んでると思います。私はこの「だいろアート展」を他の地域の方にも知ってもらい、かのうハウスが「だいろ」や地域についての情報発信地になってほしいと思っています。



(小見 健史)



〔国際通信〕

プラチナ・ジュビリーとスコットランド

スコットランド在住 小野塚 貴子(学校町出身)

「スコットランドには2つの季節がある。6月と、それ以外だ」と言われるほど、北国スコットランドにとって、初夏6月は最も華やぐ、輝かしい時期です。新潟との大きな違いは日照時間でしょう。夏へ向かうにつれ日が長くなり、夏至の頃は、夜11時頃まで明るいのです。(逆に冬は午後3時以降から夕方になります)スコットランドの公立小中学校は大抵6月後半から夏休みが始まります。卒業式関連行事や修学旅行、学校主催のキャンプなど様々な催しが行われ、人々の心が浮き立つ時期でもあります。2020年・2021年のコロナ禍では殆どの学校行事がキャンセルになったので、コロナ規制が全くなかった今年は人々の思い入れが一層強



6月初旬、夜23時頃、我が家のベランダから(23時でもまだこんなに明るい)

かったことと思います。

そんな6月に、英国女王エリザベス2世の即位70周年「プラチナ・ジュビリー」を記念して英国全体が4連休となりました。英国の有名アーティストが参加した野外コンサートを含めたさまざまな記念行事と街のあちこちで「ストリート・パーティー」が行われ、大変に盛り上がったそうです。「そうです」と人ごとのように形容した理由は、イングランドと違い、スコットランドではそれほど「王室を祝う」ムードではなかったからです。6月の4連休、とあって、街は賑わいました。私はたまたま連休初日にグラスゴー市街地に出かけました。どのレストランも予約いっぱい、なかなか食事に行きつけませんでした。

それは、プラチナ・ジュビリーだからというより、単に4連休を楽しむという雰囲気でした。イングランドのあちこちで行われたストリート・パーティーも、こちらでは全くありませんでした。王室に対する心の距離の違いが表れていると思います。

ウィリアム王子の結婚式があった2011年4月私は王室ゆかりのロンドン郊外の街に住んでいました。そこでは近所の人たちが集まって通りの真ん中にテーブルを設置し、ストリート・パーティーが催されました。皆で食事を持ち寄り、ウィリアム王子とキャサリン妃の写真が載ったケーキを食べました。スコットランドに引越してから、その話をス



地元のサマーフェスティバルで

コットランド人の友人達に伝えると「へえ」という反応でした。70代の私の義父母は全く王室に関心がないばかりか、王室制度に反対しています。最新の調査では、スコットランド人の若者の59%が独立を希望しているそうです。イングランドの王室への意識もスコットランドの独立希望の傾向と関係しているように思えます。

何はともあれ、天候にも恵まれ、コロナ規制の全くなかったスコットランドの初夏の連休、街は笑顔が溢れていました。

英国女王エリザベス2世が9月8日死去されました。哀悼の意を表します。

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ②⑧

ガンバって かいたよ!

曽根おひさまこども園



「運動会の組体操頑張ったよ」

組体操の大火火。お友達と一緒に楽しかった。またみんなでやりたいな。

神田 理菜  
(年長児)

「マリニアロ本海」

年長児お楽しみ会で行ったマリニアロ。きれいな魚たちいっぱいでしたのしかったです。

近藤 悠翔  
(年長児)



「夏の思い出」

家族みんなで花火あげたよ。とっても楽しかったんだ♡またみんなでやりたいな。

椎谷 咲優  
(年長児)



【歴史・文化】

「鑑湖八景」パート2

コミ協編集委員

榎本 博

② 矢島田に刈り取る稲をつみのせて

ひまくる船の歌のゆたけさ

よく晴れた秋空の下、矢島の田んぼで手塩にかけて育てた稲を刈る。刈り取った稲を田舟いっぱい積み上げている。田舟を引きながら唄う農家の人の歌声が湖面に響き渡る。何とまあ味があり豊かなことよ。

矢島田の稲の収穫を喜ぶ景



田舟

③ 秋深く実りし稲の穂に見ゆる

真田になびき落ちる雁がね

秋も深まり、たわわに実った稲穂が黄金色に輝いている真田。鎧濁の上空を飛翔する雁の群れが、実った稲穂のように真田になびき落ちてくるよ。

真田の稔田に雁渡る景



雁の群れ

④ きなれし河井の鐘も音すみて

さびしささる秋の夕暮

いつも聞きなれている河井の鐘の音。大気が澄み渡る秋は一層鐘の音も澄んで聞こえ、ものあわれや諸行無常の寂しさが増してくる秋の夕暮れだこと。

河井の秋の夕暮れの景



長善寺

⑤ 夜もすがら降り来し雨やそぎけん

せきとめあへぬ山島の川

梅雨の時期、夜通し降り続けていた雨が、次から次へと注ぎ込んだのだろうか。その濁流を押しとどめることができずに溢れている山島の川よ。

山島の川の夏洪水の景

(次号へ続く)



湛水の様子

【レジャー】

### 家族で楽しめるロードバイク

鮎在住 加藤 雄大



最終的には160km先の長野県の野沢温泉まで走れるようになりました。それから数年の間で『俺も乗りたいな』と長男長女、妻と家族5人で出かけるようになりました。乗り慣れてくると『どこまで行けるか、どこまで登れるか』と弥彦山や野沢温泉の山を登る大会に出たり、六日町の八海山まで遠出をしたりと、家族共通の趣味として楽しめるようになりました。

『自転車って難しいし、きつそう』と思われがちですが、季節ごとに変わる景色を楽しみながらゆっくり走ったり、少しだけスピードを出して風を感じたり、おいしいデザートを目的に走ったりと様々な楽しみ方ができます。素晴らしい趣味に出会えて幸せです。



【思い出】

### 昔の小学校の思い出

升瀧小学校卒業生 東町 小林 多聞

私は、昭和32年(1957)旧升瀧村立升瀧小学校を卒業しました。戦後の六・三教育制度の第10回卒業生です。戦争末期頃出生の一番少ない学童と思います。戦後は復員兵の帰還などで子どもは増えてきましたが、物資や食べ物はなく、村に水道が入ったのは昭和37年(1962)、ガスは48年です。一家にラジオがあればよい方でした。



昭和38年 運動会

当時の木造二階建て校舎は大瀧(現升瀧児童遊園)にあつて、正面に巨大なタブの樹がありました。現在も当時のまま中央にあり、樹の隣には学童銅像と裏に「この地に学校ありき」の記念版もあります。当時は砂利道で、学校まで約1時間を集落ごとに

低学年を先頭に上級生が見守り、男の子も女の子も厚地肩掛けカバンで、裸足か下駄履きで登校しました。下校は、他の子供とプラプラと途中、ゴミやイチジクなどを採って食べ、家に着くとカバンを放り投げ神社などの広場に集まって暗くなるまで遊び回っていました。上級生や中学生は家の手伝いで来ませんでした。何もない時代でしたが、一番楽しかった小学校時代を思い出します。

【登山】

### 三年ぶりの県内遠征登山を終えて

西川角山会会長 巻地区在住 田中 正志

山好きの諸先輩が立ち上げた山の会です。当会も会員の高齢化や新型コロナの影響で、毎年普通にやっていたことが出来なくなっていました。

角田山山頂での月一回の集まり「朝食会」や、春秋に行っていた県内外の山を訪ねる「遠征登山」も思うようにはできません。

三月には、会の在り方を皆さんに聞く総会を持ちました。会員の気持ちは「会をなくすのはもったいない」との意見が多数を占めました。



角田山山頂冬の「健養亭」

それを受け、三年ぶりに希望者11名で長岡鋸山(のりやま)765mを目指しました。6月15日、ゆっくりの7時出発です。幸い雨も上がり「山は良く来たな」と迎えてくれました。緩い登りのブナ林の登山路です。強い日差しを遮り、心地よい風が体を冷やしてくれます。2時間かけ、ようやく山頂へ。眼下には長岡市街、弥彦山、角田山が一望できます。久しぶりの遠出の旅を楽しみ、そして下山。足元を確かめながら慎重に登山口へたどり着く。

温泉で汗を流し、会員の皆の近況を確かめ合い、できれば秋もと思った山旅でした。

【図書館】

読書の秋を楽しみませんか？

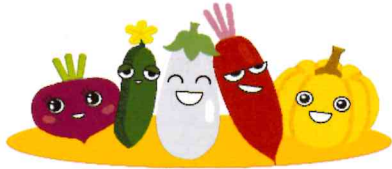
新潟市立西川図書館 丸山 未来

みなさんは西蒲区にある「にしかなない野菜」をご存知ですか。にしかなない野菜とは西蒲区で生産された色や大きさ、形などに特徴のある野菜をブランド化して販売するものです。年間を通して三十品種ほどの野菜を生産しています。

そこで西蒲区の図書館では、にしかなない野菜に関連したイベントを秋に行います。なないろ野菜に関する問題に挑戦し、ピング形式でクリアしていきます。児童のみならず大人の参加も可能です。その他にも、にしかなない野菜の中から食べてみたいと思った野菜に投票してもらおう人気投票も予定しています。

夏の暑さも和らぎ読書がしやすい季節になってきました。読書の秋を楽しみつつ、西蒲区の魅力ある特色にふれてみてはいかがでしょう。

なないろ野菜



【ご家庭トレーニング】

おうちで手軽にできる健康増進運動を

コミュニティセンター

健康サポート教室 鶴巻 健

スキマ時間を使って、2〜3分で簡単にできる体操です。みなさまもぜひやってみて下さい。

かかと上げ 強化する筋肉…ふくらはぎ

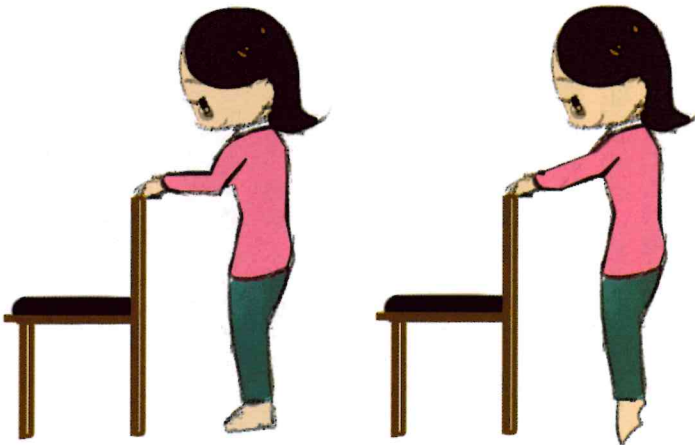
(1) 腰幅に足を開き、背筋を伸ばす。

(つま先は正面)

(2) かかとを持ち上げる。

(親指の付け根に重心を置く)

(3) 元の姿勢に戻る。



秋の催し物ご案内

※新型コロナウイルス感染症状況により、変更・中止となる場合がございます。

代官献上米行列が行く!!  
10月9日(日)

越後にしかわ時代激まつり

午前11時行列出発

金剛寺〜西川ふれあい公園

特設ステージへ  
正午 代官献上米セレモニー

(特設ステージ)

お問い合わせ..

がっつと！にしかわ実行委員会

西川文化協会

「芸術・芸能秋まつり」

◆芸術祭(西川学習館・講堂)

いけばな、絵画、写真など

10月15日(土) 10時〜17時

16日(日) 10時〜16時

◆芸能祭(西川多目的ホール)

美釀太鼓、カラオケ、フラダンス、新舞

踊、民謡、剣舞、相撲甚句など

10月16日(日) 13時から

編集後記

猛暑の夏もようやく過ぎ、秋の訪れです。長びくコロナのまん延、異常気象による豪雨災害、未だ終わりが見えないウクライナ紛争と大変な世の中ですが、連日のマスメディアによる情報に惑わされることなく、自身で判断出来るようにしたいものです。

(江端)

【編集委員】◎江端 繁 ○灰野直義  
近藤敏道 榎本 博 土田正博